



石坂わたるの活動報告

- 4月10日 戦争やだね! 中野パレード
- 4月13日 ソーシャルジャスティス基金「票育」
- 4月14-15日 富山型デイサービスと生ごみの再資源化等について無所属議員合同視察(富山市・金沢市)
- 4月16日 Get in touch「みんなの学校上映会」&「MAZEKOZE Talk」
- 4月17日、6月5-19日 知的障がい者青年学級「いずみ教室」
- 4月18日 東京若手議員の会で新宿児童相談センター及び一時保護所を視察、市川房枝記念会女性と政治センター「女性は政治を変えられるか」
- 4月19日 東京行政書士会中野支部総会
- 4月22日 世界ヒバクシャ展を応援する会
- 4月23日 日本家政学会「統計講習会」・総会
- 4月25-26日 防火・防災講習
- 4月27日 ETIC主催「NPO・ソーシャルビジネスの財務最前線から学ぶ」@西武信金中野本部
- 4月28日 和光市を視察(「わこう版ニューボラ〜妊娠からの切れ目のない支援〜」について)
- 4月29日 レインボーウィーク(以下、RW)「LGBTのためのプレママパパ教室」・「LGBTキャリアカフェ」
- 4月30日 RW「きやつどくらぶ」・「東京レインボープライド2016オープニングレセプション」
- 5月1日 RW「LGBTを切り口に今後の学校教育について考える」(司会者として参加)
- 5月3日 東京高校生みらい会議
- 5月4日 RW「LGBTアライフからの人生スタート」・「LGBT×住まい〜LGBTが中野に住む」
- 5月5日 RW「日本Lばなし〜日本のレスビアの過去、現在、未来をつなぐ〜」
- 5月6日 RW「LGBTといのちを考える」
- 5月7日 RW「LGBTの子どもに対するいじめと、差別禁止法整備の必要性」・「フェスタ」
- 5月8日 東京レインボープライド(パレード)
- 5月9日 カラフル連絡網
- 5月11日 杉並区を視察(高次脳機能障害について)
- 5月12日 中野区社会福祉協議会他「防災ボランティア体験デイ」
- 5月13日 中野カフェミーティング
- 5月14日 江古田の森障害者支援施設春まつりボランティア
- 谷戸ほのぼのfamily合唱団練習
- 5月15日 中野区ふれあい運動会、大震災に備える中野フォーラム、うさごはんを愛する会総会
- 5月16日 日本赤十字災害時高齢者生活支援講習、中学校PTA連合会懇親会
- 5月17日 IDAHO(国際反同性愛嫌悪の日)やっぱ愛タボ! idaho-net主催講演会「教科書にLGBTを!」
- 5月18日 東京青年会議所主催講演会「パラレルキャリア」
- 5月19日 建築士事務所協会中野支部懇親会
- 5月20日 自治体総合フェア
- 5月21日 中野神明小学校・第十中学校運動会
- 5月22日 東京自閉症協会「高機能ASDの自立について考える」、わんぱく相撲中野区大会ボランティア、
- 5月24日 南中野地区委員会定期総会、若手市議会議員の会研修、司法精神保健福祉士研修
- 5月25日 全国市町村国際文化研修所「自治体決算の基本と実践」
- 5月28日 中野区合同水防訓練
- 5月28日 多田小学校・第七中学校運動会
- 5月29日 ぶれいす東京活動報告会
- 6月3日 中野区伝統工芸展、キッズ・プラザ江古田見学
- 6月4日 南中野中学校・第二中学校運動会
- 6月5日 南台商店街緑日、国際基督教大学大学生からの取材
- 6月7日 日本郷学園社会部の生徒による取材
- 6月11日 中野神明小学校学校公開、新山小学校セイフティー教室見学
- 6月12日 日本防災士会中野区支部総会、桃園会館での子ども食堂「こどもビストロパーティー」を見学、いろいろりおしゃべり会
- 6月13日 東京若手議員の会児童虐待防止プロジェクトチーム会合
- 6月14日 コープみらい「みらい広場」、長広会(原爆被爆者の会)総会
- 6月14-15日 フロリダ州オーランド銃殺事件追悼集会
- 6月18日 障害者支援養成講座
- 6月18日 中野立教会総会、中野区体育協会発足祝賀会
- 6月19日 Conférence LGBT au Japon 日本のLGBT @中野区産業振興センター
- 6月22日 ロイター通信からの取材、カナダ大使館レセプションに参加
- 6月23日 上高田東高齢者会館での子ども食堂「みんなの食堂」
- ビートルズ来日50周年記念、ロバート・ウイテカー写真展@中野区温暖化対策推進オフィス
- 6月25-26日 なかの育フェス(運営委員)
- 6月28日 ゆめなりあ説明会・発達障害講演会@中野区産業振興センター
- 6月28日 司法精神保健福祉士研修



不安と孤立を見捨てない 石坂わたるの たつのご通信

中野区議会議員・無所属

Vol.21 2016・夏号

http://ishizakawataru.net/

@ishizakawataru 09wishizaka@mbr.nifty.com

編集・発行 共生中野 〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL&FAX.03-6304-8758 [中野区議会]〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL.03-3228-8885(無所属控室)



平成28年第2回定例会が終わりました。今回の定例議会では**地域包括ケア**についての一般質問を行ないました。また、今回の定例会では**障がい者、高齢者、子ども、外国人、LGBT他に対するユニバーサルデザイン**を進めるための、ユニバーサルデザイン推進審議会の設置を定める条例が可決しました。

そして、これまで私は議会質問で**若年性認知症**の方に対する働ける場の確保について取り上げてきましたが、若年性認知症の方の**就労の場の確保**を含めた認知症の対策の方向性が、厚生委員会で報告されました。

来年度から本格実施される中野区の地域包括ケアの検討は始まったばかりですが、短期的には**介護が必要な方や認知症を抱えている人が安心して暮らすための整備**を急ぐとともに、長期的には障がいのある人もない人も、胎児、乳幼児、青少年、壮年、高齢者といった様々な人生の時期において、**困った時に支援が得られる包括的なケアのしくみづくり**や、全ての人が安全安心に生活し続けることができるユニバーサルデザインの社会づくりを進めていけるようにしたいと思います。

石坂わたる
1976年生まれ。養護学校教諭、区立第七中学校・第十中学校介助員などを経験し、2015年4月、中野区議会議員選挙にて再選(2期目)。精神保健福祉士、行政書士。同性のパートナーと二人暮らし。

石坂わたるの 会計報告とお金の話

税金から議員に支払われるお金は3種類あります。まず、議員報酬です。これは議員の報酬として月々支払われるものに加え、期末手当があります。

次に、政務活動費です。議員や議会運営に関わる調査や報告のための補助金です。会派ごとに支払われ、金額は議員一人につき毎月15万円です。(去年は改選があったため5月からの11か月)年度末に用途を報告し、余剰は返却します。表の通り、私は調査・研究のための書籍、視察費用、講座等の受講料、このたつのご通信の印刷・郵送費などに使っています。実際に政務活動で使う費用は政務活動費の支給額を上回っています。政務活動費の支給額を上回った政務活動の経費や、政務活動費から出さない各種会合への参加費や会費などは、議員報酬の中から捻出をしています。

最後に費用弁償です。これは議会出席のための日当(交通費・昼食代など)として1回の出席につき3千円支払われます。しかし、交通費・昼食代にしては多額であること、昼食代は通常個人の収入をあてることから、費用弁償は廃止すべきと考えています(お隣の杉並区はすでに全廃)。返還ができないため、平成27年度に受領した費用弁償約17万円は、区外の公益団体や被災地に全額寄付をいたします。(社会福祉法人つくりつこの家、認定特定非営利活動法人SHIP、熊本地震被災地支援を予定)(買収にあたるため、区議会議員は所属する区の団体には寄付ができません)

[政務活動費の会計報告]	
研究研修費 (学習会等開催・放送大学通信課程経費・セミナー受講料等)	62,308円
調査旅費(みなかみ町や久慈市の視察)	36,333円
資料費(都政新聞購読料・書籍代等)	45,507円
広報費(たつのご通信発行・発送料)	1,639,374円
広聴費	0円
会議費	0円
人件費	0円
事務費(文具代、通信費等)	45,967円
その他の経費	0円
合計	1,829,489円

「政務活動費と議員のお金について」のお知らせ

8月27日(土) 18:30~21:00
会場: 新井区民活動センター

政務活動費をはじめ、区議会議員活動のお金の収支についての報告と意見交換をします。

記事の執筆をしました

月刊誌『都市問題』
後藤・安田記念東京都市研究所
2016年05月号
(第107巻 第05号)
特集 自治体と人権
「自治体現場におけるLGBT施策
—行政・議会に求められる役割とは」

視覚障がい者の方など必要な方には音声版のたつのご通信(DAISY CD)をご用意できます。

お茶会のお知らせ

お茶を飲みながら、幅広い年齢層や異なる職業・背景などを持つ参加者同士が、和気あいあいとざっくばらんにおしゃべりをしています。石坂による活動報告・区政報告の他、「暮らしの中で気づいた中野の状況」について考えたり、みんなで一緒に何ができるかを考えたりしています。「生活や制度について相談をしたい」「中野について考えたい」という方も、「みんなと一緒に居心地のよい時間を過ごしたい」という方も、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

9月11日(日) 14:00~16:30
会場: 弥生区民活動センター

予約不要 途中入退場可 資料代100円

★単色刷りのたつのご通信について★

昨年度も政務活動費としての支給額よりも、支出額が大きくなってしまったこともあり、今回は夏号のみ単色印刷での発行といたしました。秋号はカラーでの印刷を予定しております。

TEL&FAX 03-6304-8758(事務所) または TEL 03-3228-8885(無所属控室) MAIL 09wishizaka@mbr.nifty.com

すべてのお問い合わせはこちら! ↓↓↓ バックナンバーのお問い合わせもこちらまで!
TEL&FAX 03-6304-8758(事務所) または TEL 03-3228-8885(無所属控室)
09wishizaka@mbr.nifty.com



一般質問 (H28.6/8)
平成28年 第2回定例会 (6/6~6/20)

▶▶ 高齢者や子ども、障がい者を含む地域包括ケアを進めるように!

石坂 地域包括ケアを考える際には高齢者福祉／介護保険／障がい福祉／児童福祉／健康に関する計画の共通部分の分析や計画同士の連携の検討が必要です。また、高齢者／障がい児・者／子ども等に関する相談支援事例を集約・整理し、支援方法や、各窓口間の連携を考えるべきではないですか？

田中大輔区長 (以下区長) 中野区の目指す地域包括ケア体制は高齢者、障がい者、妊産婦など全ての人自立して暮らせる地域作りです。個別事業計画や地域の取り組みを分析し、共通部分や領域ごとの特徴を把握して全体を作ることが必要です。

石坂 地域包括ケアでは、「認知症や介護予防」、「機能維持・回復」、「家族による、ケア対象者への不適切な関わり方や虐待の防止」、「家族の支援」など様々な取り組みが展開されます。事業展開のためには、障がいの有無を問わず、また妊産婦を含めて、子どもから高齢者まで気軽に通えるスペースを身近な場所に設置することが必要です。

例えば区内16か所の高齢者会館での認知症・介護予防の取り組み強化や、介護をしている家族の支援強化を進めてはいかがでしょうか。

区長 介護予防拠点の一つとしての高齢者会館の取り組みの重要性はさらに増していくと考えています。効果的な介護予防プログラムや人材面での育成など高齢者会館の運営団体に対する支援を強化し、機能的な充実を図っていききたいと思います。また、介護者の支援も視野に入れていきたいと思います。



一般質問



若手議員の会で児童相談所を視察

▶▶ 子どもの地域福祉をコーディネートする専門相談員を配置しては?

石坂 和光市では子育て世代包括支援センターに子育て支援ケアマネージャー等が配置され、妊娠・出産・子育ての相談支援を一貫して行い、母子保健・福祉・経済問題等に対応しています。

現在、中野区では、「すこやか福祉センター」、「保健所の保健予防分野」、「子ども家庭支援センターや子育て支援分野、保育園・幼稚園分野」などが、各々の取り組みをしています。また、子どもへの対応は学校教育や教育相談等との連携も欠かせません。連携・調整を行う部署を明確にすることが必要です。いかがお考えでしょうか？

区長 施策の組み立ては子ども教育部が子ども施策全般の担当であり、サービス推進は、地域支えあい推進室と連絡調整をして進めています。

石坂 子ども関係の窓口を明確にし、子ども関係の行政サービス全体像に精通し、区民のニーズに合わせたコーディネートや相談対応ができる職員を配置すべきではないでしょうか？

区長 これまで本庁舎3階の子ども総合相談窓口がワンストップで対応してきました。10月からは相談者の個別ニーズや状況を的確に把握した上で必要なサービスにつなげる役割を担う子育てコンシェルジュを配置します。

また、地域の身近な相談窓口であるすこやか福祉センターにおいては保健師や福祉職等の専門職が実際の支援や相談等について継続して総合的に対応しています。

補足説明
これまで、各担当者から話を聞いて回らないと子育て施策の全体像が掴めないことがしばしばありました。こうした状況の改善が求められます。

▶▶ 高次脳機能障がい者の支援を

石坂 高次脳機能障がいの知識や、コーディネート力のある「相談やコーディネートの窓口」を区が明確化し、当事者や家族や医療機関に広く周知する必要がありますのではないのでしょうか？

健康福祉部長 すこやか福祉センターではワンストップで総合的な相談対応をしています。専門的な相談は障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」を紹介し、再就職や職場復帰には障害者福祉事業団と連携を図りながら支援をしたいと思います。医師会との連携も図っています。各相談窓口の役割をより明確にし、周知方法を工夫します。

石坂 高次脳機能障がいに特化した、機能回復リハビリテーションと、就労リハビリテーションの両プログラムが区内にあり、当事者が利用できるしくみが必要ではないのでしょうか？ また、高次脳機能障がいに精通した職員の採用・配置や、研修等による職員のスキルアップを図るべきではないですか？

健康福祉部長 つむぎで月に1度、当事者の交流と認知機能のリハビリを兼ねたグループリハビリを開始しました。就労に向けたリハビリは都の就労準備支援プログラムにつなげています。高次脳機能障がい者に対する機能回復や就労に向けたプログラムの在り方は今後検討する必要があると考えています。

補足説明
高次脳機能障がいは中途障がいなので、家族や本人が、障がいをなかなか受け止められないケースが多くあります。支援先がうまく見つからない状況や、先行きの希望が持てない状況になると、諦めてしまう傾向もあるようです。また交通機関の乗り換えが困難であるなどの理由で、都の就労準備支援プログラムに通える方はごく一部という状況です。



お茶会を行った上高田区民活動センター

厚生委員会 (H28.5/9、6/10・11)
本会議閉会中及び28年第2回定例会

- 「新しい中野をつくる10か年計画」に対するパブリックコメントで「HIV／AIDS(エイズ)検査の課題や啓発の必要性……」「医療機関、介護施設へのHIV／AIDS(エイズ)に関する理解促進、受け入れ態勢の整備等、具体的な記載を……」との意見がありました。啓発をどう考えるか質問し、担当より「普及・啓発も行っていく」との回答がありました。
- 生活困窮者自立支援法に基づく、学習支援事業について、学校での成績などにその成果がどの程度行われているのかなども把握をして今後に向けた検討に活かすよう求めました。
- 認知症対策について当事者や家族の団体などの声を踏まえて進めてもらえるように求めました。

区内駅周辺等まちづくり調査特別委員会 (H28.6/16)
本会議閉会中及び28年第2回定例会

- JR中野駅の西側の新改札の設置や南北自由通路の完成が10年6か月後に遅れるとの説明に対して、駅のバリアフリー化や混雑緩和が遅れることを懸念し、JRに対する安全対策やバリアフリー化の遅れに対する対応についてJRとの協議や要望を行うよう求めました。

補足説明

現在の中野駅の改札は乗降客数に比して出口が狭く朝のラッシュ時には駅構内に人が滞留し危険な状態だと声をいただいています。また、現在の中野駅は駅構造上エレベーターの設置ができず、車いす利用者やベビーカーの利用者等が階段の利用やエスカレーターの乗降に不便さを感じている声を数多くいただきました。新たな改札口の早期開設が求められています。



▲東京レインボープライド(スウェーデン大使と)



▲なかの育フェス



▲桃園区民活動センターでのお茶会と中野駅周辺まち歩き

今回の定例会では来住区議を紹介議員として、2つの区民団体の代表者が提出した請願「平和の森公園再整備基本計画について」に対する討論を行いました。

平和の森公園の未開園部分への体育館等の整備について

- 1 『再整備構想』 ◀ 設けることを明示した構想 (区長部局が作成。以下同様)
- 2 『再整備基本計画』 ◀ 公園内での体育館等のゾーニング(位置)を明示
- 3 『基本設計』 ◀ 安全面なども含めて考えた施設的设计
- 4 『実施設計』 ◀ 実際に工事を行う設計
- 5 工事に着工

今回の請願にはいくつかの不具合や賛同できかねる部分があると思います。石坂は反対を致しました。その理由は主に以下の通りです。

体育館等の整備の是非について見直すのであれば「平和の森公園再整備構想について」とすべきところが、公園内に施設設置をする前提でその配置をどうするかを定める部分を見直すことになる「平和の森公園再整備基本計画について」という請願の表題・内容となっていました。

『再整備基本計画』で明示された施設のゾーニングという観点に限って見れば体育館等の施設は公園内でも極力既存の公園への影響が少なくなるように考えた配置がなされていると思われました。

そのため、石坂は平和の森公園再整備基本計画についての見直しを求める請願には賛成できかねる旨討論を行い、不採択という判断を致しました。しかし、文言に誤りなどがあると思われるものの、その趣旨として、近隣の住民の方が説明や意見を表明する機会が不十分であると感じ、公園の今後について不安を抱えていることについては、理解ができる部分もあり、今後の基本設計の説明会などの場面では、区行政に対し、より一層の分かりやすく丁寧な説明を行い、多様な区民の声を聞く工夫をしていただきたいと思います。討論の中でその旨を行政に求めました。(この陳情は、石坂を含む不採択が採択を上回り、不採択「否決」されました。)